

「無電柱化の日」に合わせてパネル展を開催

2018年11月5日(月)～11月16日(金)

札幌第1合同庁舎 1F (南側)

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 北海道開発局では、「道路の防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観形成や観光振興」の3つの観点から、北海道における魅力ある地域の形成を目指し、道路上から電線・電柱を無くす無電柱化事業を推進中
- 11月10日の「無電柱化の日」に合わせて、北海道における無電柱化の必要性や最新の無電柱化の取組等を知っていただくことを目的にパネル展を開催

▼パネル全景



▲パネルの設置状況

▼掲示したパネルの一例

「脱・電柱社会」
増え続ける電柱にストップを

日本の生活の中で見慣れてしまっていますが、改めて道路から景色を眺めると、そこには電線・電柱が多数張り巡らされていることに気がつきます。日本全国には、現在約66万本の電柱が立ち並び、さらに毎年約7万本ずつ増加しているのが現状です。

北海道開発局では、①道路の防災性の向上、②安全で快適な通行空間の確保、③良好な景観形成や観光振興の3つの観点から、道路から電線・電柱を無くす無電柱化の取組を推進しております。

国土交通省 北海道開発局



地域との連携から生まれた「見えない化」
電柱の老朽化に合わせて、地域と電線管理者との調整により【電柱・電線の見えない化】を実現し、羊蹄山の景観が大幅に改善

【「羊蹄山の見える化」の取組】

① 電線の見えない化
② 電柱の見えない化
③ 電線・電柱の見えない化

羊蹄山

一目瞭然

国土交通省 北海道開発局

**無電柱化
パネル展
開催中**

国土交通省
北海道開発局